

しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2021年2月号（通算第59号）

子どもとのQ&A（疑問や質問のある子は素晴らしいです！）

Q：授業中友達から「この答えを教えて」と言われたら、どうしたらいいですか？（小5男）

A：それは困りますね。君がまじめに勉強するから友だちも認めているのですね。「君はどう考えたの？」と聞いて、それを聞いてから「僕はこう考えたよ」と、お互いの考えを交流したらどうですか。また、「どう考えたらいいかわからないよ」と言う場合は、「どこが分からないの？」と質問して、ヒントを上げたらいいと思います。



「僕も今考え中なんだ。先生に質問してみたら」と、言うのもあると思います。答えを教えて、友達が「自分で考えること」を邪魔しないようにすることも大事です。

大人とのQ&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）



Q：子供が、「お母さん、算数の問題を出して！」と言います。どのような問題を出したらいいですか？（小2女子の母）

A：とてもいいお子さんですね。まず、算数の教科書の「練習問題」「まとめの問題」を、「この問題をやってごらん」と勧めてみたらいかがでしょうか。もし、「もうやってしまったよ」と言うことでしたら、例えばパソコンで「算数3ステップドリル」検索で、無料でダウンロードできる問題を利用することも考えられます。

学校の先生がたのQ&A（先生にもわからないことがある！）

Q：先生は、できる子ばかり指していると、子供の間でうわさになっているそうです。分かっていない子を指すのはかえってかわいそうと思うのですが？（小5の担任教師）

A：そういうのはよくあります。分かっている子、できる子、手を挙げた子を指すのは当然です。でも、そればかりだと、自信のない子、内気な子、途中までしかできてない子を参加させることができません。そこで、子供の学習状況や反応を観察して、そのような子は、始めのほうで指名して発言させたらいかがでしょうか。この子には問題を読ませてみよう、今日の問題は途中までできているから「途中までを発表させ」、その続きをほかの子に発表させようと、いろいろ工夫できると思います。いろいろお試してみましよう。（HK）



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A（皆様からの質問をお待ちしています）」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会」の利用の仕方など様々な情報が閲覧できます。ぜひご覧ください。